

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	環境情報学特別演習Ⅰ（Environmental Information Engineering SeminarⅠ）		
ナンバリングコード	R30401	大分類／難易度 科目分野	環境情報学専攻／応用レベル
単位数	2	配当学年／開講期	1年／通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M001106	クラス名	濱永研究室
担当教員名	濱永 康仁		
履修上の注意、 履修条件	社会に貢献できる人材となるために知識や技術だけではなく、人間性も含めた社会性を身に着けることを特別研究を通した目的とする。 室内だけではなく、時には外に出て情報を収集することもあるため、どのような課題が来ても対応できるように心身の準備をすることを心得てもらいたい。 出席は毎回確認する。遅刻は認めず欠席扱いとする。欠席時の講義資料は配布しない。認定出席の対応はしない。講義には万全の準備をして臨むこと。		
教科書	随時資料を作成する。		
参考文献及び指定図書	修士論文に関わる文献。		
関連科目	環境情報学特別演習Ⅱ		

○基本情報		
授業の目的	修士論文を作成するために必要な事柄を学び、身に着けることを目的とする。 本講義は、環境情報学専攻のディプロマポリシーにおいて表記されている、「情報工学、建築学及び土木工学の基礎ならびに応用研究を推進する中で広い視野と高度な専門技術を発揮できる能力」、を身に着けるうえで、建築学、土木工学に通じるコンクリート工学の研究に関する応用的な知識を修得することを目的としている。	
授業の概要	修士論文作成のためには、社会の問題に気づき、それを解決する方法を検討しなければならない。そのために、どのような実験や研究が必要かを検討する。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	取り組む研究の背景、位置づけ、目的を理解している。		20%	20%
【ディプロマ・ポリシー②】	研究内容について積極的に発案することができる。		10%	10%
【ディプロマ・ポリシー③】	目的を達成するような実験を実現できる。 必要に応じて研究内容を微調整できる。		20%	20%

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	環境情報学特別演習 I（Environmental Information Engineering）	授業コード	M001106
		担当教員	濱永 康仁		
学修内容					
1. 授業について(1・2回)					
授業の目的, 内容, 進め方を説明する。					
なお、この授業計画は1つの項目で2コマ分の内容を説明しています。					
予習		講義資料			約2時間
復習		配布資料			約2時間
2. 実験テーマについて(3・4回)					
本研究分野の現状について説明する。					
予習		講義資料			約2時間
復習		配布資料			約2時間
3. 文献調査(5・6回)					
同分野の研究論文の調査結果と内容を報告する。					
学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。					
予習		文献調査			約3時間
復習		発表内容の修正			約1時間
4. 文献調査(7・8回)					
同分野の研究論文の調査結果と内容を報告する。					
学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。					
予習		文献調査			約3時間
復習		発表内容の修正			約1時間
5. 文献調査(9・10回)					
同分野の研究論文の調査結果と内容を報告する。					
学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。					
予習		文献調査			約3時間
復習		発表内容の修正			約1時間
6. 文献調査(11・12回)					
同分野の研究論文の調査結果と内容を報告する。					
学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。					
予習		文献調査			約3時間
復習		発表内容の修正			約1時間
7. 文献調査(13・14回)					
同分野の研究論文の調査結果と内容を報告する。					
学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。					
予習		文献調査			約3時間
復習		発表内容の修正			約1時間
8. 文献調査(15・16回)					
同分野の研究論文の調査結果と内容を報告する。					
学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。					
予習		文献調査			約3時間
復習		発表内容の修正			約1時間

○授業計画		科 目 名	環境情報学特別演習 I（Environmental Information Engineering）	授業コード	M001106
		担当教員	濱永 康仁		
学修内容					
9. 文献調査(17・18回)					
同分野の研究論文の調査結果と内容を報告する。					
学生が調べた文献について、学生自身で発表し、その内容について討議する。					
予習		文献調査			約3時間
復習		発表内容の修正			約1時間
10. 実験(19・20回)					
実験の準備状況や問題点について議論する。					
予習		実験準備			約2時間
復習		実験結果整理			約2時間
11. 実験(21・22回)					
実験の準備状況や問題点について議論する。					
予習		実験準備			約2時間
復習		実験結果整理			約2時間
12. 実験(23・24回)					
実験の準備状況や問題点について議論する。					
予習		実験準備			約2時間
復習		実験結果整理			約2時間
13. 実験(25・26回)					
実験の準備状況や問題点について議論する。					
予習		実験準備			約2時間
復習		実験結果整理			約2時間
14. 予備実験(27・28回)					
どのような予備実験が必要か検討する。					
予習		実験準備			約2時間
復習		実験結果整理			約2時間
15. 予備実験(29・30回)					
どのような予備実験が必要か検討する。					
予習		実験準備			約2時間
復習		実験結果整理			約2時間
16. 総括(31・32回)					
全15回の講義の総括を行う。					
予習					
復習					